



のりお通信

仙台市の児童・生徒の学力

～ 全国平均を大きく上回る！ 中学国語Bは全国1位～

皆様お元気でしょうか。私の市政報告をお読みいただきありがとうございます。

さて、9月から議会の市民教育常任委員になりましたので、今回は、仙台市の児童・生徒の学力について報告させていただきます。

4月に行われた全国学力調査の結果が先ごろ公表されました。仙台市は小学校、中学校ともに国語、算数・数学の2教科で全国平均を7年連続で上回ったほか、政令市と東京23区の全国平均を上回りました。特に、中学校の国語では、応用力をみる「B問題」で全国1位になりました。

仙台市独自で実施している標準学力検査の結果を踏まえた指導、少人数指導や中1ギャップ対策など、きめ細かな取組みによって成果を上げてきているものと考えます。

課題もいろいろありますが、教育施策の充実を図りながら、児童・生徒の努力を応援していきたいと思えます。

全国学力調査平均正答率(%)

小学校(6年生)

	国語A	国語B	算数A	算数B
仙台市	76.7	57.1	79.2	59.7
宮城県	74.2	54.3	77.3	56.8
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

中学校(3年生)

	国語A	国語B	数学A	数学B
仙台市	82.9	56.1	70.6	64.6
宮城県	80.3	52.0	65.6	59.4
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

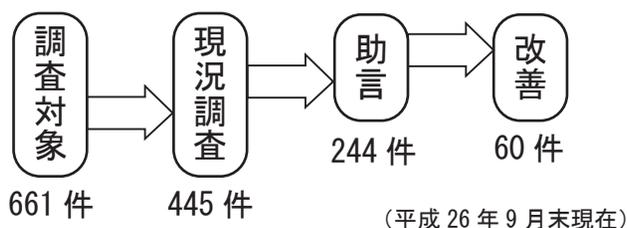
条例施行から半年 - 空き家問題 -

昨年12月に議員提案で制定した「空き家対策条例」は、本年4月に施行されました。施行から半年が過ぎ、その成果が現れてきています。

仙台市では市民からの相談等を受け、現況調査を行い、管理不全な空き家の把握に努めています。調査を行った445件のうち、244件に対し助言・指導を行い、9月末で60件について改善が見られました。

今後とも、管理不全な空き家の解消が進むよう、動向を注視していきます。

条例に基づく対応結果



選挙期日の統一を

従来4月に行われていた統一地方選挙は、東日本大震災により被災3県を中心に選挙期日が延期され、分散実施されました。県内でも、仙台市議選が平成23年8月28日、宮城県議選が同年11月13日に行われました。

平成23年の選挙では、前回の選挙に比べ投票率が大幅に低下し、執行経費は仙台市だけでも約8千万円の増加となるなど、分散による弊害が生じています。

このため、仙台市議会は被災地の議会の協力を得て、被災自治体の選挙期日の統一を国に要望しています。

◇ 斎藤のりお プロフィール ◇

昭和29年8月生まれ
 古川高校・北海道大学経済学部卒業
 その後宮城県職員となる
 平成15年 仙台市議会議員初当選（現在3期目）
 仙台市議会において
 ○東西線・まちづくり促進調査特別委員会委員長
 ○会派「自由民主党・仙台」会長
 自由民主党泉区支部長